

広報用実績のまとめ

令和 元 年度

団体名 成羽太陽ベースボールクラブ	代表者 藤本洋一	記者 川上敦宏
所在地(市区町村名のみ) 高梁市		
活動目的 県内外からチームを招待し、大会をとおしてチーム同士の交流を深め互いに切磋琢磨し競技力の向上を図ることを目的とします。		
団体の紹介 高梁市内の旧川上郡(成羽町、川上町、備中町)を中心とした地域密着のチームです。 礼儀、協調性、道具の大切さの三大目的に活動しています。 団員、指導者、育成会三位一体となって目標に向かって、日々頑張っています。 団員(小学6年生から小学2年生まで)21人		
助成を受けての活動内容 歴史と文化のまち成羽」を舞台に学童軟式野球成羽大会を開催しました。県内外から11チームを招待し、大会をとおしてチーム同士の交流を深め互いに切磋琢磨し競技力の向上を図ることを目的としました。高梁市なりわ運動公園野球場及び多目的グラウンド(2面)を会場に3グループに別れて各会場の優勝盾(杯)を目指して競いました。 本大会は、今回で38回目の開催となり、県下で行われる少年軟式野球大会の中で最も歴史ある大会として多くのチームの参加をいただいています。 大会成績は以下のとおりです。 森田盾 優勝 乃木ライオンズ 準優勝 成羽太陽ベースボールクラブ リパティック杯 優勝 里庄町少年野球クラブ 準優勝 船穂スカイラークス 高梁ライオンズクラブ杯 優勝 城北Heroses野球スポーツ少年団 準優勝 和気ベースボールクラブスポーツ少年団		
助成を受けての成果 県内外から11チームが参加し、大会をとおしてチーム同士の交流を深め互いに切磋琢磨し競技力の向上が図れました。 各会場を防球ネットで仕切ることにより、安全に競技を行いホームラン賞を授与する事が出来ました。		
今後の活動の課題点 昨年の西日本豪雨災害により高梁市全体での被害は大きく、その復旧に膨大な予算が必要なことから、毎年交付を受けていた高梁市からの大会運営補助金は凍結となり、自主財源にて運営すること。 団員数の減少に伴い運営にあたるスタッフも減少傾向にある中、30年以上続くこの大会を今後も継続して開催できるか。		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど) 成羽太陽ベースボールクラブ 事務局 川上敦宏 E-mail: atsuhiko.kawakami@city.takahashi.lg.jp		

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
 A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
 写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。

第38回 学童軟式野球成羽大会
開催 令和元年7月21日
会場 なりわ運動公園野球場・多目的グラウンド

